



もし、村で災害が起きたら…

最近、地震や災害などの天災による被害が各地で起こっています。村内で災害が起きたら…。そんな時に自分たちはどう避難したらいいのか？

現在、村では地区の皆さんの意見を取り入れた防災マップの作成を進めています。（詳細は2～3ページ）

● 主な内容 ●

防災マップ作成	2～3
森里川海ミニフォーラム	4
源流の日を記念日に登録	5
吉野かわかみ社中包括協定	6
地域フォーラム	7



広報かわかみ

平成28年 3月10日発行

発行 奈良県川上村

編集 川上村広報編集委員会

〒639-3594 奈良県吉野郡川上村大字迫1335番地の7

TEL. 0746-52-0111

ホームページアドレス <http://www.vill.kawakami.nara.jp>

メールアドレス soumu@vill.nara-kawakami.lg.jp

川上宣言

一、私たち川上は、川上における自然とのつきあいが、地球環境に対する人類の働きかけの、すばらしい見本になるよう努めます。

（川上宣言は全部で5つの項目になります。
（毎号1項目ずつ掲載していきます。）



多くの方が説明会に関心を持ち集まりました

2月6日に高原多目的集会所にて、防災マップ作成ワークショップが開催され、高原区民約20名が参加しました。
今回のワークショップは、村が防災マップづくりを進めるにあたり、奈良県の協力のもと、奈良県砂防・災害対策課、吉野土木事務所、役場、高原区が一緒になってモデル地区として開催されました

○土砂災害について…

まずワークショップに先立って、奈良県砂防・対策室こさへ漕江係長より「土砂災害への備え」について講演をいただきました。

講演では、土砂災害に備えるためには、まず災害について知ることが大事です。土砂災害には「土石流」「がけ崩れ」「地すべり」の種類があり、これらの災害について特徴など説明がありました。さらに、川上村にも大きな災害をもたらした平成23年の紀伊半島大水害で発生した「深層崩壊」について、被害状況や被災写真等の紹介がありました。

また、災害から身を守るために



土砂災害について説明する漕江係長

は、「危険個所を確認する」「避難行動を確認する」「緊急時の行動を確認する」ことが重要です。災害の起こりそうな時や災害が発生した時の避難場所や避難路、避難行動等を確認しておくことが自分の身を守ることに繋がると講演されました。

講演の後、高原地区を3つの地域に分けて、各グループで防災マップワークショップが始まりました。

自分たちで作ろう！地域の防災マップ

～私たちは知っている地元のことが危ない！～

○ワークショップでマップづくり

ワークショップは地元の司会進行で10のステップに分けて進められました。

ステップ1

準備した大きな地図に、自分の家や記載されていない道路、川などを記入します。

ステップ2

避難所と避難路を記入します。

ステップ3

防災資源として、防災倉庫の位置や倉庫に入っている備蓄品の確認をするなど、水道施設等のライフレインも確認し、記入します。

ステップ4

地域の助け合いとして、一人では避難することが難しい高齢者や障害者への支援方法を考えます。

ステップ5

地域の危険個所の確認。奈良県で指定されている土砂災害危険個所（警戒区域）を記入します。

ステップ6

奈良県の資料をもとに、深層崩壊の跡地や情報を記入します。

ステップ7

ポイント

地域で気になっている危険箇所、昔から言い伝えのある危険箇所、日頃から感じている危険箇所等を記入します。

ステップ8

ステップ1から7までを通して地図に危険箇所等の情報が反映できました。

次に、この地図を見ながら各地区で起こりうる災害、災害時の状況などを話し合います。

ステップ9

ポイント

災害時の避難行動について考えます。大雨が降った場合想定避難路は安全か、夜間や豪雨の中での避難は出来るのかを考えます。

ステップ10

災害時に地域での役割分担、家庭での役割分担について考えます。



ワークショップを行うとさまざまな書き込みがあり、情報が充実しました

最後に、各グループから話し合いの結果発表がありました。発表の中では、「大雨で水路から水があふれて危ないので早めの避難が必要」「夜間の避難は足元が危ないので明るい間に避難する」「避難所が遠い場合は自分の家より安全な近所の家に自主避難させてもらう」などさまざまな意見が出されました。

このワークショップは地域のみならず防災について考える良い機会となり、防災意識の向上、危険箇所の再確認や新たな発見など有意義な時間となりました。

今後もすべての地区で防災マップ作成ワークショップを進めていく予定です。

皆さんの声を生かして現実に沿った村の防災マップを作成したいと考えておりますので、ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

【問い合わせ先】

役場総務税務課（防災係）

TEL 52・0111



松浦防府市長 来村

昨年12月、山口県防府市より松浦正人市長が川上村を訪れました。実は防府市もミニフォーラムを12月にリレー開催している森里川海の同志でもあります。

松浦市長は全国市長会相談役、教育再生首長会議会長、内閣官房「そうだ地方で暮らそう」国民会議委員を務められるなど、全国区でご活躍の首長で、栗山村長と熱い地域づくり談議が交わされました。

出合いのきっかけは、かつて川上村にモンゴル国立馬頭琴交響楽団を招いてくれた佐藤紀子女史が松浦市長と同級生である繋がりからでした。人の和（輪）の広まりに、また希望も膨らむ思いです。



栗山忠昭川上村長と懇談

防府市の広報に松浦市長と栗山村長の対談記事が掲載されました。

「森里川海プロジェクトとは」
環境省による取り組みで、森里川海の恵みを持続可能な形で将来に引き継ぐとともに、安全で豊かな国づくりをめざします。その活動のひとつとして、国民全体に森里川海への理解と共感を広げていくために、全国約50ヶ所でミニフォーラムを開催しています。

つなげよう、支えよう森里川海 ミニフォーラム開催

和歌山市との交流事業と連携開催

2月8日（月）、森と水の源流館にて、環境省主催による「つなげよう支えよう森里川海ミニフォーラム in 川上」が開催されました。

平成23年度から、和歌山市と川上村が協働で取り組んできた、住民間の交流促進事業が、この森里川海の先進事例として環境省より注目され、今回のミニフォーラム

開催へとつながりました。

当日は、和歌山市生活排水対策指導員（田畑みき子会長）の皆さんや、川上村商工会女性部（玉井博子部長）の皆さん、また、川上村環境審議会新田公子委員をはじめ、村内外から環境保全に関心の高い約50名の参加者で満席となり、今回のミニフォーラムを通して、より上下流の交流が深まりました。

冒頭、環境省近畿地方環境事務所より秀田智彦所長による主催者挨拶や同省担当者による森里川海プロジェクトの説明に続き、栗山村長が共催と歓迎の挨拶を行いました。

続く事例発表では、松本利子氏（川上村商工会女性部）による「ひとつの雫、思いを集めて元気な村に」と題しての活動報告や、平嶋健太郎氏（和歌山県立自然博物館）による「吉野・熊野と黒潮、水がつなぐ生きものたち」と題しての研究レポート、また、尾上忠大氏（公益財団法人吉野川紀の川源流物語事務局）による「流域コミュニティのデザイン（協働取組の試行から）」と題しての流域連携の取り組みが紹介されました。

また、グループに分かれての意見交換会では、参加者から環境保全について身近な意見が交わされ、充実した時間となりました。



「自然の恵みを繋いでいくために、自分ができることは？」などグループ討論も活発でした。



川上村が条例で制定した「源流の日」（11月16日）が、日本記念日協会に登録され、同協会から記念日登録証が届きました。また2月4日には、記念日の命名者である下西ユリアさん（入之波）に、村より記念品が贈呈されました。

村では天皇、皇后両陛下御臨席のもと開催された「第34回全国豊かな海づくり大会」や「やまと」の開催日である11月16日を毎年記念日とする条例を制定。

命名者の下西ユリアさんは、結婚を機に川上村に移住して約3年。故郷のウクライナでは、飲料水を買うことが当たり前で、川上村の水のきれいや、水道水がそのまま飲めることに衝撃を受けたそうです。「村のきれいな森と水に感謝し、守っていくことが使命だと思っています」と話してくれました。

記念日の制定を受け、栗山村長は、「豊かな自然を後世に残すため、山と森の大切さについて考えるきつ

きれいな森と水を次の世代へ・・・ 「源流の日」を日本記念日協会に登録！



贈呈された源流の文字



源流の日登録証

かけになれば」と述べられました。

なお、記念品は書道家の土井一成氏（大迫）が「源流」の文字を彫った木を額装して贈呈されました。

新春 将棋大会

2月14日、ふれあいセンター（北和田）の和室にて新春将棋大会が実施されました。

今年は、大人3名、子ども5名が参加し、熱戦が繰り広げられました。大会の結果は次の通りです。

【大人の部】

優勝 山崎 勝洋（迫）
準優勝 春増 公文（粉 尾）
3 位 前 浩輔（中学校）

【こどもの部】

優勝 松本 陸（大 滝）
準優勝 弓場 溪介（中 奥）
3 位 松本 峻（大 滝）



真剣な眼差しで次の一手を考えます



協定後に握手する
(左から) 栗山村長、下西代表、橋本頭取、中南部部長

2月5日に、川上村役場第一会議室において、吉野かわかみ社中と南都銀行が包括協定を締結しました。
これは村の基幹産業である吉野林業を活性化させることが目的で、同行においても林業団体との協定を結ぶのは初めてのことで

発信力の強化へ！新たな取り組み！

吉野かわかみ社中と南都銀行が連携



協定書にサインする下西代表と橋本頭取

この協定により、「林業技術の継承による持続可能な森林づくり」「村産材の一貫供給体制による六次産業化の実現」「情報拠点の構築」に取り組みます。
今後は、金融機関の知見や情報などの提供を受けながら、吉野材を使った家具など新たな商品の開発や、異業種とのマッチング、海外への販売開拓などを進め、村産材の利用拡大を図っていきます。



第559回 各大字出仕人の方々

2月5日に、金剛寺（神之谷）にて第559回「朝拝式」が執り行われました。この式典は長年にわたり受け継がれてきたことを受け、平成22年に村民俗無形文化財に指定されています。
今回も村内外から集まった多くの参加者が見守る中、各大事を代表する出仕人などにより肅々と式が営われました。

後南朝の皇族をしのぶ「朝拝式」



歌を奉納する歴史を語る会の皆さん

玉串奉奠などの「自天皇神社前の儀」が行われ、次に御朝拝式場で「御朝拝の儀」が執り行われました。その後、宝物殿の扉が開かれると、賀詞奏上^{よこそうじやう}が詠み上げられました。
場所を変え、「御陵参拝の儀」「朝拝の儀」を終え、式典はつがなく終了しました。
今年は、式典終了後に歴史を語る会の方が「ああ後南朝」という歌を奉納されました。

高齢者が元気に過ごせる村！学力だけではなく、人間性豊かな教育を！

2月21日、川上総合センターやまぶきホール（宮の平）において、平成27年度第6回「地域フォーラム」が開催されました。

このフォーラムは地域の課題解決につなげることを目的とし、今回は「健康・医療・介護」と「教育」をテーマに、知事と2町（吉野・大淀）4村（川上・上北山・下北山・東吉野）の首長、専門家らが、活発的に意見交換会を行いました。

【健康・医療・介護】

川上村では、「健康で元氣な暮らしとコミュニケーションづくり」を重点施策に位置づけています。健康で元氣に暮らすためにはどうすればいいかを分析し、年を重ねても健康で過ごせるよう、らくらく元氣塾などで健康づくりを行っています。

なにより、本村は高齢化率が非常に高い数値（56・9％）であり



自宅でも簡単に出来る運動



高齢者への施策について語る栗山村長

ますが、介護の認定率は低く（17％）なっています。

元氣な高齢者には、まだまだ村づくりに参画していただき、村の活性化につなげて行きたいと考えています。

【教育】

現在、村の中学生までの子どもの数は52名（中学生14名、小学生24名、保育園14名）です。しかし、人数の少なさを活かしてきめ細やかな教育を行うことで、児童・生徒の学力は高く保たれています。奈良県へき地教育振興大会でも大きな評価をいただきました。

さらに、本村では寛永18（1641）年に現在の井光地区で寺子屋が開設されたと村史に記載があります。明治の初めには、村の偉人である土倉庄三郎翁が比較的早い段階で私立中学である芳水館を建て、青少年教育に力を注がれました。

今後は、「教育村」として誇りを胸に、平成21年度から実践している「義務教育プラン」を軸に個人の特性を生かした「9年間の教育」を推進します。



児童数の多い桜井東中や県外の加太小学校とも交流

コミュニケーション力や対人対応能力の向上



ICT活用事業



最新の技術を活用し、インターネットで他の学校との交流も実施

かわかみことば特集

各地区の方言を紹介するにゃ～

白川
渡編

家庭と生活

- おとうちゃん お父さん
- おかちゃん お母さん

最近テレビで全国各地の方言が取り上げられ、ドラマなどでも昔なつかしい言葉が語られています。もちろん私達の村でも、昔の言葉で話されている方がいます。

広報編集委員会では、温もりのある方言を大事にし、先人から伝えられた文化を後世に残すため、各大字を訪問し、取材をさせていただきました。

隣近所の貴重な語り文化としていつまでも残される事を願います。

(尚、昔から伝わる方言の性質上、そのまま掲載致しました)

方言クイズ

何のことかわかるかな？

- なるい
- はしかい

※答えは特集の中にあります

遊 び

○ ぱっちゃん	ぺったん
○ ぱい	こままわし
○ めんこ	おはじき
○ ^{きんま} 水馬すべり	自作の水馬ですべる
○ ゴムどび	ゴムを飛びこえる
○ ちんちんぱ	地面に輪をかけて遊ぶ
○ どんま	馬どび
○ くぎたて	地面の線の上に釘を立てる
○ どかん	白い石を砂にかくす

生き物・植物

○ めつきばら	ひいらぎ
○ はび	まむし
○ くそず	かめむし
○ ごど	がまがえる

地名の由来

○ 白山渡	白い石（石灰岩）がたくさんあったから
-------	--------------------

日 常 会 話

○ おいやん	おじさん
○ おばやん	おばさん
○ おい	わたし
○ おまえ	みんな
○ そこたあじゅう	あっちこっち
○ きのの	きのう
○ やれきょうたふー	ああびつくりしたふ
○ いころ	行こか
○ だかえる	かかえる
○ なおせ	しまいなさい
○ がいなやつ	強い人
○ そやけど	しかし
○ いにしな	帰るとき
○ ひる	大声で泣きさけぶ
○ おめく	大声で呼ぶ
○ やおつり	ひっこし
○ はしかい	すばしこい（足が速い）
○ （土を）きせる	（土を）よせる
○ かたぐ	かつぐ
○ なるい	平ら
○ どれい	ものすごい（大きい）
○ そのじぶん	そのころ
○ ありご	ありったけ

食 べ 物

○ おくもじ	漬物
○ おみ	ぞうすい
○ あい	鮎
○ ばたこ	ふしのぼり
○ あかもつ	腹の赤い魚
○ くそばい	あぶらはい
○ もーない	まずい
○ うまない	おいしくない
○ ふごみ	ふもぎ
○ いたんどり	すかんぼ
○ たける	山菜の固いところ
○ ほりぐい	旬より早く掘って食べるこど

語り部さん（敬称略）

榎 田 道 男	
奈 加 幸 三	
南 昌 宏	
枅 谷 一 休	
森 口 恒 夫	
上 田 修	

「頑張ります！」

栗山です

私の一日はNHKの朝の連続テレビ小説「あさが来た」ではじまります。ヒロイン「あさ」のモデルは、皆さんも存知の広岡浅子女史であります。女性が社会の表舞台に立つことが稀で、「女性に教育は不要」とされた時代に、「教育に男子も女子もない」と、さまざまな困難を乗り越えて、日本初の女子大学の設立に奔走した不屈の精神は、まさに「びっくりぼん」であります。

そして、この広岡浅子女史を支えたのが郷土の偉人・土倉庄三郎翁であることは皆さんも承知のとおりであります。翁は、自らの財産を、国のため、教育のため、そして林業の経

営や普及のために三分の一ずつ使ったと言われ、とりわけ教育には大変な情熱を傾けられました。

先月21日、第6回「地域フォーラム」(奈良県主催)が開催され、「教育」をテーマに奈良県が教育指針報告を行い、続いて近隣町村がそれぞれの取り組みを報告しました。ここで私は、早くから「教育村」とされてきた誇りや経緯とともに、仲間こそ少なくなつたものの「教育村」の精神をつぎ、義務教育プランを実践する「今の学校」の子どもたちの、心と目の輝きが堂々としていることについて報告しました。同時に、子どもたちを守り、支え、育むことをあらたに決意しました。間もなく出会いと別れの季節です。どうか前向きに物事を考えていきましよう。

村づくり塾活動中です！

今後の村づくりについて、学び・考える「村づくり塾」が活動しています。

活動内容は村内見学や講師を招いての講演会、ワークショップや

会議などです。

とき 平成28年3月24日(木)

19時

ところ

役場会議室

テーマ

おおたき龍神湖周辺の利

活用について

【問い合わせ先】

定住促進課

TEL 52・0111

清流

人生の新たな出発が、自身を取り巻く環境の変化であるとするならば、私にとっての川上村は7度目の出発になります。5年前の秋、当神社より前宮司の退任を受け主人が招聘されたことがきっかけでした。

主人は介護の必要な母が気掛かりで、わたしも義母や新築間もない家、娘家族の事等々迷いました。そんなとき、義母の「私は老人ホームに入れてくれればいいから、求められているのなら頑張る、支えなさい」という言葉に背中を押されました。

「大和は国のまほろば」と詠われているように奈良は古へのロマン漂う土地であり、川上村に於いては井光鹿伝説を始め、歴史・文化・伝統が息づいている所に魅力を感じ決意しました。

越して程無く、一人社頭で留守番をしていたことです。総代のK氏が川上村のパンフレットを持ち、村のようすや施設・神社のことについてお話しをしに来て

下さり、最後に神社をよろしくお願ひしたいと頭を下げられました。私の最初の来訪者であり、緊張と大変恐縮した事を覚えています。その時、他の村の方々もきっと暖かく親切であろうと感じ、実際その後に出逢う皆さんもとても優しく良くしてくださいました。

当神社は主人が一人で切り盛りし、私で間に合うことは手伝っています。村外から参拝される方も多く、お話しを伺うときさまざまな人生ドラマに出逢います。そしてそれを糧に前向き感謝の気持ちを持ち、ここまで足を運んで来られる姿には頭が下がります。又、不思議な体験談に触れる時もあり、今まで専業主婦であった私には考えられない世界とも向き合うことができ、良い刺激を受けています。

今年の7月17日には、一昨年より始まった「丹生川上神社三社水祭り」が行われる予定で、平成30年には、御遷座20年を迎えます。

まだまだ知らない所やわからない事等がありますが、空気も水も美味しく、自然と人に恵まれた川上村に来て良かったと心より思っています。

望月 彰美



左側から伊原侑加さん 陸くん(小学1年生) 誠人さん

住まいるネット移住者紹介

『住まいるネット』は移住希望者の方へ空き家を紹介する取り組みです。
特に、若者の定住・移住の促進に取り組んでいます。
今回は、『川上ingツアー』がきっかけとなり11月に東川へ移住された伊原さん家族をご紹介します。

子どもの環境面を考え、川上村が良いと家族で話し合ったことを今でも覚えています。最初の印象もよく、その後、学校を見学し、息子が元気に登校している姿が目につきました。
登校初日、「学校、楽しかった」と帰って来るなり伝えてくれました。
川上村で住みたいと強く感じても仕事や住まいがなければ、私たちも移住は先のことだと考えていました。でも、仕事の紹介や住宅もお借りすることができ、順調に進めることができました。
ツアーの参加から移住に当たり、多くの方にいろいろ相談させてもらいました。本当にありがとうございました。

村では空家バンクの登録者を募集しています。相談だけでも結構ですので、お問い合わせください。

【問い合わせ先】

役場定住促進課 TEL 52・0111

国民健康保険証(緑色のカード)の切り替えについて

現在お持ちの国民健康保険被保険者証(保険証)の有効期限は3月31日(木)までとなります。それに伴い、新しい保険証と切替を行います。

つきましては、下記に記載する会場または役場窓口までお越しください。

なお、国民健康保険税を完納されていない場合は、会場での切替ができないこともありますのでご注意ください。※該当世帯にはハガキを郵送し、お知らせいたします。

◎平成28年3月23日(水)

9:00~10:00	東川公民館
10:10~10:50	西河公民館
11:00~11:30	大滝生活改善センター
13:00~13:30	高原多目的集会所
14:00~14:20	武木公民館
14:40~15:00	井光公民館
15:20~15:30	下多古公民館

◎平成28年3月24日(木)

9:00~9:20	白川渡公民館
9:30~9:40	瀬戸生活改善センター
9:50~10:00	粉尾公民館
10:20~10:30	中奥公民館
10:50~11:10	ふれあいセンター
11:20~11:40	上多古多目的集会所
13:00~13:20	柏木生活改善センター
13:40~13:50	大迫公民館
14:10~14:20	伯母谷公民館
14:40~14:50	入之波公民館

※後期高齢者証(紫のカード)は7月に切り替えを行います。

※この両日は、役場窓口での切替はできませんので、あらかじめご了承ください。

3月25日(金)からは、役場窓口で切替ができます。

【問い合わせ先】役場住民福祉課(国民健康保険係) TEL 52-0111

こんにちは
保健師です

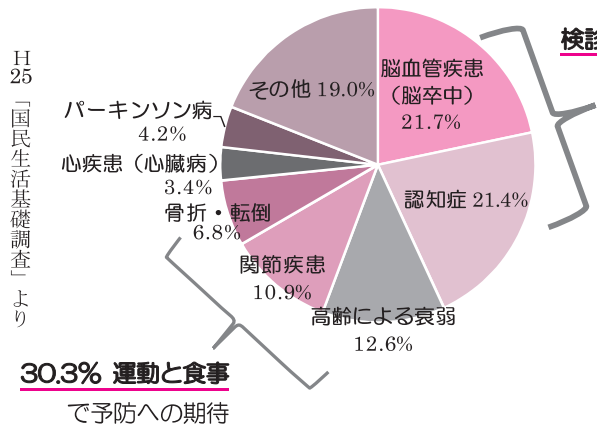


介護が必要となった主な原因を
見てみると…左のグラフのよう
なっています。

「高齢による衰弱」「関節疾患」
「骨折・転倒」といった身体を動

検診・食事・運動

で予防への期待



30.3% 運動と食事
で予防への期待

かす運動器と関わりがある3〜5
位を合わせると全体の約3割を占
めます。

身体機能は適切な対策を行えば、
維持・改善することが出来ます。

「足腰が弱って次第に歩けなく
なる」「物忘れがひどくなり日常
生活が送れなくなる」等について
今までは、「年をとって仕方ない
こと」と思われていました。

しかし、これらを予防すること
の重要性が注目され施策化されて
います。

川上村では、らくらく元気塾の
中で、介護を予防するための具
体的な方法をお伝えしています。

ご希望の公民館等で実施します
ので、下記の案内を確認し、お申
し込みください。

のびっ子広場
とき 3月15日(火)
カンブリア「人形劇」
3月29日(火)

じかん 10時〜11時30分
持ち物 お茶・タオルなど
【問い合わせ先】
ニコニコマザールーム

やまぶき保育園 TEL 52-0119
役場住民福祉課 TEL 52-0111

お近くの公民館等で「らくらく元気塾」を実施しませんか？

○らくらく元気塾は、毎週1回、10回で1コースとなっています。

○内容は、運動・食事・お口の健康についてです。膝や腰の痛みがある方も、運動指導の専門家が対策をお伝えしますので、ご参加ください。

○平成28年度は、下記の期間で、6地区を募集予定です。

○費用は無料です。

場 所	日 程	時 間
1	5月13日～7月15日	午 前
2	毎週金曜日(全10回)	午 後
3	9月23日～12月2日	午 前
4	毎週金曜日(全10回)※10月28日を除く	午 後
5	1月20日～3月24日	午 前
6	毎週金曜日(全10回)	午 後

<申込期限> 4月15日(金)まで

※申し込みが重なった場合、以前に実施したことのない地区を優先します。

※申し込みが多数の場合は、時期や場所等の希望に添えない場合がありますので、ご了承ください。

【問い合わせ先】役場住民福祉課(保健師) TEL 52-0111



この3月末で任期満了を迎える5名の隊員からのメッセージです。

かわかもんがゆく。

— 地域おこし協力隊活動記 —



鳥居 由佳（後列右から6人目）

林業界に新風を吹き込みたいという強い想いを持ち、平成25年6月より村で暮らし始めて、早いもので3年の月日が経ちました。かわかもんとして、これまでさまざまな事業に携わる中で多大なるご支援、ご協力いただきましたこと心より感謝しています。

私は、これからも川上村を拠点に林業界に関わり、この地の人々が紡いできた吉野林業の素晴らしさをたくさんの人に伝えていきたいと思っています。引き続き、ご指導とご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

村上 航（後列右から1人目）

協力隊の活動を通して、「地域には、問題を解決するために筋道を立てる力や伝える力が必要だ」と考えるようになりました。そうした力を身につけるために、春から大阪のデザイン会社に就職します。

川上村に来ていなければ、つま

らない生活を送っていたかも…と思うほどに、この村で経験したこと、学んだことは私の人生の大きな糧になっています。

一度村を離れますが、つながりを持ち続けていきます。今後ともよろしく願ひします！

村山 祐理（後列右から3人目）

あっという間の3年間でした。川上村での生活は、自分の力で暮らす意識と知恵を与えてくれました。同時に、周りの人と互いに助け合う心も教わりました。一人暮らしでありながら独りぼっちの感覚がなかったのは、近所の方をはじめ、温かく接してくださる村の方々がいたからです。優しく迎え入れ、何かと気にかけてくださり、心から感謝しています。

福祉の専門性を身に付けたい、という新たな目標に向け、卒業後は村を離れますが、「いつでも遊びにおいで」という言葉を頼りにまた会いに来ます。その際は、どうぞよろしく願ひします。

横堀 美穂（後列右から5人目）

村に来て3回目の春を迎えました。吉野山の桜も素敵ですが、中奥川対岸に咲く山桜を眺めるのが毎春の楽しみになっています。今年の山桜も楽しみます。

「粉尾で宿をやりたい！」と思ってから今まで、「まだ完成せんのか？」とお尻を叩かれることもあれば、「宿でこんなしたらどう？」とアドバイスをいただくこともあり、本当にたくさんの方にお世話になってきました。ありがとうございます。

今後、多くの村の人に来てもらうことで、「宿が村の一部になっていたらいいなあ」と思います。気軽ににお茶でも飲みに来てください！

早稲田 緑（後列右から4人目）

3年間の活動の中で、迷惑をかけることの方がたくさんありましたが、できない理由を述べてやらないよりも、できるように協力してください。たくさんの方に出会えたことを嬉しく思います。ありがとうございます。

「どんな『今』を大事にして、どんな『未来』を作りますか」高校生への環境学習にて、ある山守さんがこう問われました。川上村の持つ資源はこれだけ壮大な問いかけができる尊いもので、代々とも生きてきた川上の人たちは素晴らしいです。ここにある資源を生かして未来を作ることに、私はこれからも尽力していきます。

教育かわかみ

第38回 教育長通信

☆土倉庄三郎翁没百年に向けて

来年、2017（平成29）年は郷土の偉人土倉庄三郎翁が亡くなって百年目を迎えます。

仏教では一年前の今年が百回忌にあたることから、菩提寺の大滝龍泉寺では6月19日（日）に法要を営みます。村でも同日午後、やまぶきホールで記念行事を予定しています。

この日を出発点として、没百年に向けての取り組みを通し翁の偉業を振り返るとともに、生涯を川上村の発展に尽くした翁の思いや願いを再認識する期間にしたいと思います。



土倉庄三郎抄伝

☆川上村の教育の歴史（寺子屋）

川上村はへき地の一小村ながら昔から教育にかける情熱が強い村であったようです。

村史によれば、江戸幕府が開かれて間もない頃、1641（寛永18）年に碓村（現在の井光）ですでに伊藤加關らが師匠として読書・算術を教える寺子屋を開設していたようです。これは、幕末に萩（山口県）に開かれた松下村塾（1842〔天保13〕年開設。塾長では吉田松陰が有名。高杉晋作や伊藤博文など明治維新の立役者を多く輩出した）よりも200年も早いのですから驚きです。

次いで、村内の寺子屋は井戸村、武木村、下多古村にと広がっていきます。幕末になると東川・人知・大滝・白屋・高原・北和田村に開設されています。

☆同（小学校の建設）

1872（明治5）年に学制（わが国初めての教育制度）が公布され、翌年施行されると、早くも明治7年4月には、東川と寺尾に進学舎と開明舎（両舎とも村下直七校長）が、10月には北和田に遷喬舎（西村周一郎校長）が開校しています。

これに続いて大滝には土倉庄三郎の肝いりによる地藏堂を改築した小学校が開校。彼は明治政府発刊の教科書を寄贈し使用させるとともに、同10年には児童全員にそろいの洋服（龍泉寺秘蔵）を制服として寄贈し着用させています。着物が主流であった当時、全校児童にそろいの洋服を着せたのは極めて珍しいことであったようです。

西河には徳蔵寺を仮校舎として西河小学校が開校。学校運営費や学費がすべて住民負担であり全国の就学率も28%でしかなかった当時、西河小学校の就学率は61%で驚異的な数字を示しています。



◇3月・4月の学校の動き

8 (金)	7 (木)	6 (水)	5 (火)		4 (月)		29 (火)	28 (月)	25 (金)	24 (木)	23 (水)	22 (火)	21 (月)	20 (日)	18 (金)	17 (木)	16 (水)	15 (火)		14 (月)		10 (木)		
	第14回入学式	平成28年度一学期始業式	職 員 会 議	教 職 員 結 核 検 査	職 員 会 議			春 期 休 業	三学期終業式併せて27年度修了式		第13回卒業式	振 替 休 日	春 分 の 日	給食最終日			さよなら給食	卒業式準備	遊びの日	卒業式予行	児童見守隊立哨		ハロー英語	身長体重測定
第35回入学式						PTA役員会				卓球合宿研修会	卓球合宿研修会						給食最終日					公立高一般選抜入試		第34回卒業式

学校で

桜井市と教育交流を実施

2月2日、本校の児童と城島小学校の児童で教育交流を実施しました。児童たちは、はじめの内は緊張気味でしたが、城島小学校の先生方や児童に温かく迎えてもらい、帰る頃には随分打ち解けてきたように感じました。

1年生

* 2限 道徳「人間コピー」

班ごとに廊下に掲示してある絵を見て、何が描いてあったかを思い出し、協力して絵を完成させました。

* 3限 国語「漢字・まとめて呼ぶ言葉」

「貝」という漢字を学習した後、身の回りにあるいろいろなものの名前について考えました。3人とも進んで手を挙げ、発表できていました。



2年生

* 2限 生活「まちたんけん発表会」

川上小学校、城島小学校それぞれ20分以内で、町や村の様子を紹介しました。

* 3限 学活「交流会」・国語「詩を読んで」

1組に入った2人は、交流会でゲームを一緒にして楽しみました。2組の3人は、グループ学習で、3つの詩を工夫して読み、みんなの前で発表しました。



3年生

* 2限・3限 学活「なかよし集会」

* 2限・3限 算数「身の回りのものの重さ」

3人ずつに分かれて1組・2組で授業を受けました。「なかよし集会」では、「川上クイズ」をして、川上村の紹介を堂々としていました。算数では、「はかり」を使って、教室にあるいろいろな物の重さを調べました。落ち着いて話もしっかり聞けました。



4年生

* 2限 社会「奈良県の様子」

* 3限 算数「変わり方」

「奈良県の様子」の学習では、6人グループになり市町村ごとの人口を話し合って予想し、実際と比べました。最初は緊張していましたが、大人数で勉強したり、休み時間にはドッジボールをしたりして、とても楽しかったようです。同学年の児童たちと学習する貴重な体験ができました。



5年生

* 2限・3限 国語「卒業生に送る1字を考えよう」

* 2限・3限 家庭「夕食の献立を考えよう」

城島小の児童たちは、特にかまえたところもなく自然体で迎えてくれました。2限目の授業では緊張している様子も見られましたが、休み時間に一緒に運動場で体を動かしたり、教室で話したりしたことで、3限目の授業では、自然に打ち解けていました。



6年生

* 2限 体育「ドッジボール・かくれんぼ」

* 3限 算数「表も裏もない輪」

最初は不安だったようですが、休み時間には、遊びに誘ってもらい一緒に大縄をして遊ぶなど、楽しく過ごせました。

算数の「表も裏もない輪」では、班のメンバーとメビウスの輪を作ったりトランプを使ったゲームをしたりしました。



～樹と水と人の共生・川上村の情報～

かわかみ満足ガイド

匠 の 聚

■「匠の聚フォトコンテスト2015 入賞作品展」(巡回展)

川上村を撮影地とした写真コンテストで、見事に入賞された21点の力作を展示します。写真をと
おして川上村の魅力を感じ、発見していただければ幸いです。

と き 平成28年 3月16日(水)～
平成28年 3月29日(火)

じかん 各日10:00～17:30(予定)
ところ 奈良県立万葉文化館(ホワイエ予定)
奈良県高市郡明日香村飛鳥10
TEL 0744-54-1850
※期間中の毎月曜日は休館です。

と き 平成28年 4月5日(火)～
平成28年 4月10日(日)

じかん 各日9:30～17:00(予定)
ところ 入江泰吉記念奈良市写真美術館
(一般展示室)

奈良県奈良市高畑町600-1
TEL 0742-22-9811
※初日は12:00より、最終日は16:00まで

■奈良の伝統工芸「一刀彫」講座

匠の聚で一刀彫の魅力を体感してみませんか。
一刀彫工房であるアトリエを解放して作品づくり
を楽しく、丁寧にサポートします。

テーマ 七福神「布袋様」を彫る
講師 木彫・松本一平

と き 平成28年 3月24日(木)、4月7日(木)
4月21日(木)、5月12日(木)、
5月26日(木)、6月9日(木) 計6回

じかん 各回午前10時～午後3時
申込み 3月21日(月・振休)まで
定員 先着8名
料金 20,000円(税・材料費込)
作品サイズ 3寸

《匠の聚 TEL 0746-53-2381》

ふるさと市開催日

3月20日(日)・21日(月)・27日(日)
4月3日(日)・10日(日)・17日(日)・24日(日)・
29日(金)・30日(土)

《役場地域振興課 TEL 0746-52-0111》

森と水の源流館

■水源地の森ツアー

和歌山で海へとつながる全長136kmの吉野川紀の
川。川上村に連なる山々がその源です。

今、この瞬間も私たちにかけがえのない水を届
けてくれる源流の森とはどんなところでしょうか。

森の入り口にそっとおじゃまし、その魅力にふ
れるガイドツアーです。

と き 平成28年 4月24日(日) 9:30～16:30

ところ 吉野川源流一水源地の森
(森と水の源流館集合・解散)

定員 20名 小学生以上

参加費 一般 4,000(3,200)円
小中高生 2,600(1,900)円

※ただしバス代は主催者が負担いたします。

※参加費の一部は“環境協力金”として森守募金
にあてられます。

※「吉野川紀の川源流一水源地の森」は、一般の
方の入山はお断りしています。

■源流学の森づくり(ボランティア)

20年ほど前に伐採され、再生しつつある天然林を
立派な源流の森に戻すべく試行錯誤しています。

と き 平成28年 5月1日(日) 9:00～17:00

ところ 源流学の森(森と水の源流館集合・解散)

定員 10名 小学5年生以上

参加費 無料

《森と水の源流館 TEL 0746-52-0888》

山の学校 達っちゃんクラブ

■山菜の天ぷらハイキング

上多古川沿いを散策しながら、山菜探しハイキ
ングを行います。ハイキングのあとは山菜を天ぷ
らにいただきます。

匠の聚の芝桜の見学へもご案内します。

と き 平成28年 4月30日(土)

定員 50名(幼児以上)

コース 幼児から参加できる初心者向け

参加費 大人 2,000円 小人(幼児) 500円

締切 開催日の1ヶ月前

(※締切を過ぎても参加可能な回もございますの
でお問い合わせください)

《一般財団法人グリーンパークかわかみ事務局

TEL 0746-52-0333》

図書館 だよ！



図書館は本を借りるところ？

図書館とは、「無料で本が借りられる」「本が好きな人しか利用しない」そんな所だと思いませんか？

村内の方はもちろん、村外から村に興味のある方が来られたり、川上のことを熱心に調べる学生さんなどが来られます。また、地域の情報拠点としても機能し、みんなの「知りたい！」が集まる、村を知ってもらうための重要な施設です。

これからも皆さんの「知識の本棚」としてどんどん図書館を利用していただきたいと思います。

今月のオススメ

《お仕事編》

「林業男子」いまの森、100年先の森

山崎 真由子（著） 山と溪谷社

“東京で働く林業マン”に魅せられ、彼らを追いかけるうちに林業界にハマった著者によるドキュメンタリー。

全国で活躍する林業&木材にかかわるプロフェッショナル&その卵たち……木を「育て伐る」「加工し売る」「林業の各業界を繋げ、広げる」「伝統の技を受け継ぐ」「女性パワーで旋風を巻き起こす」「林業を描く」魅力あふれる人々ばかり。知られざる“木の世界”が見えてくる。「林業なんて自分に関係ないよ」なんてナンセンス。なにかに挑戦したい、そんな気持ちを奮い立たせてくれる1冊です。

《暮らし編》

「そだてるみそしる」

真木 文絵（著） 石倉ヒロユキ（イラスト、写真） 偕成社

普段、私たちがなにげなく食べているご飯たち。どのように育てられ、作られているのか。大豆はどうやって作るの？からはじまり、とうふ、ねぎ、みそ、だしと続きます。

この絵本の特徴は豊富なイラストと写真が合わさっていること。「おいしいごはんができるまで」が分かりやすく、そして楽しく学べる絵本シリーズとなっています。絵本の題名に添えられた「そだてる」という言葉がとてもよく伝わるシリーズです。

図書館カレンダー

● 色の日が休館日 ●

	日	月	火	水	木	金	土
❖			1	2	3	4	5
3	6	7	8	9	10	11	12
月	13	14	15	16	17	18	19
❖	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31		

	日	月	火	水	木	金	土
❖						1	2
4	3	4	5	6	7	8	9
月	10	11	12	13	14	15	16
❖	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30

川上村郷土資料の紹介

奈良県の民俗芸能 2

(P467～P479 東川の太鼓踊り)

奈良県教育委員会

11月23日の十二社神社の大例祭や大滝ダム定礎式など村の行事でも披露されていたとされる東川の太鼓踊りの詳細について記載されています。

衣装や歌詞についても細かく記載されていて、写真からは子どもたちがにぎわって小太鼓をたたく当時の様子がわかります。

ゆるがる読書会

本でつながる、人とつながる。図書館閉館後、夜の読書会。

毎回テーマにそってなごやかに話をしています。

3月のテーマは「京都」

自分のオススメ本でもOKです！お気軽にご参加ください。

と き 3月17日（木）19時～

ところ 川上村立図書館

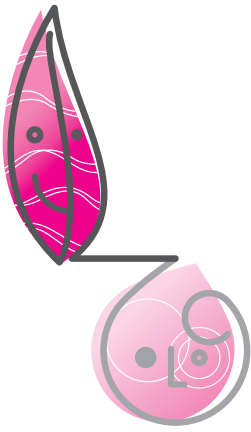
【問い合わせ先】

川上村立図書館 TEL 5 2 - 0 1 4 4

森と水の源流館だより

March, 2016 vol.160

TEL 52-0888 FAX 52-0388 (水曜休館)



残しておきたい川上村の山言葉 其の七十五

「するび」… 火をつけるマッチのこと。

※川上村の山言葉はこれにて終了します。次号からは、川上村の名所・旧跡を紹介します。



2月の水源地の森

18日には、フランスの旅行エージェントさんと一緒に、「吉野川源流―水源地の森」を訪ねました。フランス国営テレビが、昨年(2015年)3月に取材し、制作した川上村の「吉野川源流―水源地の森」などの取り組みを紹介する映像を見て、興味を持たれたとのことでした。

最近では、こういった海外からの

2月の水源地の森

この季節の森は、落葉樹の葉がすべて落ちていています。晴れると地面まで光が差しこむ明るい森になります。暖かな光が差しこむ明るい森は、夏のうっそうとした森と違って、開放感があります。



海外からの旅行エージェントの方も訪れました

問い合わせや、訪村が少しずつ増加しています。来村された方とお話ししながら、「なぜ川上村なのか」というお話をする機会も増えました。それは、先人が大切に守ってきたものを引き継ぎ、取り組んできた川上村の環境に対する取り組みが評価されてのことだと感じずにはられません。

今、川上宣言の『私たち川上は、

川上における自然とのつきあいが、地球環境に対する人類の働きかけの、すばらしい見本になるよう努めます。』の具現化に向けて確実に進んでいるのだと思います。

「こんなに素晴らしいところにはまた訪れたいし、知ってほしいので、必ずフランス人を連れて帰って来ますね。」と言いつつ、エージェントさんは帰って行かれました。こうして、改めて読み直してみると、『川上宣言』を基にした村づくりの大切さを実感します。また、これから川上村を好きになって訪れて下さる方が安心して、来ていただけるように準備していこうと思います。



視察の帰り、二乃股橋から見える大台ヶ原には雪が積もっていました

みんなで考えよう！川上村の環境

その69 ～水源地の村に相応しい河川環境づくりに向けて～

役場・公共的施設による先導的プロジェクトとして、研修会を実施

1. 各公共施設等の特質を活かした環境施策の実践

川上村環境基本計画の重点プロジェクトのひとつとして、水源地の村として多様な観点から環境に対する意識を共有し、行動につなげていくことを目的に、役場や公共施設職員による環境保全についての研修会を平成23年度から継続して実施しています。（過去、12回実施）

水質について学ぶ

2月9日（火）、役場職員をはじめ、森と水の源流館、ホテル杉の湯など公共施設の職員を対象とした環境研修会を開催し、講師として和歌山大学システム工学部教授、江種伸之氏を招いて「流域一体となった水環境管理」について学習しました。



研修会のようす

川上村の河川水質状況

川上村では、村内の河川の水質を数値で把握し、環境保全施策の評価や今後の方針とすることを目的に、平成26年度より本川及び各支川22地点にて月1回水質検査を実施しています。

今回の研修では、これまでの検査結果を基に、川上村の河川の水質状況を専門家としての視点で江種教授にお伺いしました。

各支川については、水量が低下する時期に数値が悪化するものの本川及び支川とも国が定める河川の一般的な環境基準内では良好と評価していただきました。これらの結果は、村民の皆様方が日頃から合併処理浄化槽の整備や浄化槽の適正な維持管理の実施、また、水質浄化に効果のある取り組みを実践していただいている成果だと思います。

江種教授からは、このことを下流域に対して、どんどんと情報発信をしていくべきとのお話がありました。

今後も水源地の村として、今の水質に満足することなく、源流に相応しい更なる水質保全を目指したいと思いますので、ご理解とご協力をお願いします。

～軽自動車税の税率変更のお知らせ～

税制改正により、平成28年度より軽自動車税の税率が下記のとおり変更となります。

* 原動機付自転車及び二輪車等の税率について

車 種 区 分		現行税率 (平成27年度まで)	新税率 (平成28年度から)
原動機付自転車	50cc以下	1,000円	2,000円
	50cc超90cc以下	1,200円	
	90cc超125cc以下	1,600円	2,400円
	ミニカー	2,500円	3,700円
軽二輪	125cc超250cc以下	2,400円	3,600円
小型二輪	250cc超	4,000円	6,000円
小型特殊自動車	農耕作業用	1,600円	2,400円
	その他	4,700円	5,900円

* 軽四輪車等（三輪以上の軽自動車）の税率について

車両区分			平成27年3月31日までに 最初の新規検査をした車両	平成27年4月1日以後に 最初の新規検査をした車両	最初の新規検査から 13年を経過した車両
			現行税率●	新税率●	重課税率★
三輪			3,100円	3,900円	4,600円
四輪	乗用	営業用	5,500円	6,900円	8,200円
		自家用	7,200円	10,800円	12,900円
	貨物	営業用	3,000円	3,800円	4,500円
		自家用	4,000円	5,000円	6,000円

※平成27年度4月1日以後に最初の新規検査を受けるものから新税率が適用されます。

（平成27年度は4月1日登録車両のみ新税率で課税、4月2日以降登録車両は、平成28年度から新税率課税）

●現行・新税率は、新規検査から一定年数（13年）を経過するまで適用されます。

★重課税率は、平成28年度以降、最初の新規検査から13年を経過した環境負荷の大きい自動車に対して、環境配慮型税制（概ね20%）が実施されます。ただし、電気軽自動車、天然ガス軽自動車、メタノール軽自動車、混合メタノール軽自動車及びガソリンを内燃機関の燃料として用いる電力併用軽自動車並びに被けん引車は重課の対象から除きます。

* 軽四輪車等に係る軽自動車のグリーン化特例（軽課）について（平成28年度のみ）

軽課税率とは、平成27年4月1日から平成28年3月31日までの間に新車を新規登録し、排出ガス・燃費性能の優れた三輪・四輪の軽自動車対象となる税率です。

車 種 区 分			標準税率	軽 課 税 率		
				①75%軽減税率	②50%軽減税率	③25%軽減税率
三輪			3,900円	1,000円	2,000円	3,000円
四輪	乗用	営業用	6,900円	1,800円	3,500円	5,200円
		自家用	10,800円	2,700円	5,400円	8,100円
	貨物	営業用	3,800円	1,000円	1,900円	2,900円
		自家用	5,000円	1,300円	2,500円	3,800円

①電気自動車・天然ガス軽自動車

（平成21年排ガス規制に適合し、かつ、平成21年排出ガス基準値より10%以上窒素酸化物の排出量が少ないもの）

②乗 用 平成32年度燃費基準+20%達成車
貨物用 平成27年度燃費基準+35%達成車
③乗 用 平成17年排出ガス基準75%低減達成(★★★★)かつ 平成32年度燃費基準達成車
貨物用 平成27年度燃費基準+15%達成車

※②、③については、内燃機関の燃料が揮発油（ガソリン）の軽自動車に限ります。

※各燃費基準の達成状況は、自動車検査証の備考欄に記載されています。

（注）税制改正が生じた場合は、新たな法律を適用することとなります。

【問い合わせ先】役場総務税務課 TEL 5 2 - 0 1 1 1

てんいち先生



(川上村人権・同和問題啓発活動推進本部)

特選

新年会歌と舞踊に賑はへり

松本 全代(大滝)

特選

迫り来る伯耆大山雪催

松本 全代(大滝)

特選

年の豆類ばり切れぬ齢かな

新子谷生子(北和田)

佳作

酒の粕ほどよく焼けて香り立つ

竹田サダ子(大滝)

入選

一月の降水確率定まらず

阪本 蓉子(東川)

置きゆきし娘の雛子妻飾る
屋根に雪残りてをれど梅ふむ
鹿垣をいちいち潜り野菜採る
殿内に追儼の板を響かせて
齋手に明日は七日と友来たる
雪滴樋より溢れ落ち続く
山住みの疾しき歳月お朝拝
崖庭は白梅二輪ほどの春

上田 明子(北塩谷)
上田 一郎(伯母谷)
辻井 清子(大滝)
望月 彰美(迫)
古瀬 和子(大滝)
前田 景子(大滝)
住川 準典(武木)
枘 恭子(東川)

俳句

川上俳句会

矢野典子選

開放式石油ストーブで火災発生!!

昨年12月に、株式会社コロナが製造した開放式石油ストーブ(リコール対象製品)とその周辺が焼損する火災が発生し、1名が死亡しました。この開放式石油ストーブは重大な製品事故を招く可能性が高いことから、株式会社コロナが無償点検・修理を行っていますので、開放式石油ストーブをお持ちの方は、下記までご連絡ください。また、石油ストーブ等に給油する際には、必ず消火した上で、給油タンクの蓋が確実に締まっていることを確認するなど、正しい給油方法に従ってください。



(当該製品の給油タンク)

<対象製品の外観>



(写真はSX-D27WYA)

【問い合わせ先】

株式会社コロナ お客様相談窓口

TEL 0120-623-238

ついてますか? 住宅用火災警報器!!

一般住宅に住宅用火災警報器の設置が義務化されている今日、皆様の自宅には火災警報器が設置されていますか?

奏功事例



1. 就寝中の居住者が警報音で目覚めた奏功事例

2階で就寝中、1階和室の火災警報器の警報音で目を覚めます。1階居間で煙が出ているのを発見。119番通報を行い、家族とともに屋外に避難した。

2. 高齢者が助かった奏功事例

身体の不自由な女性が就寝中、住宅用火災警報器の警報音に気付き、別の部屋で就寝していた娘に火事であることを知らせ、娘の介助により避難した。

自宅の防火対策は、住宅用火災警報器を適正な箇所に設置し、維持管理することが重要なことなのです。もし火災が発生しても、警報音により早期に発見できるよう、住宅用火災警報器は定期的に維持・管理してください。

【問い合わせ先】 奈良県広域消防組合 吉野消防署

TEL 0746-32-1011

川上村戦没者追悼式の ご案内

とき 4月14日(木)

じかん 10時30分より

ところ あきつの小野公園(西河)



☆子どもたちは村の宝です☆



ほりたに おう ま
堀谷 桜真(武 木)
(平成25年3月31日生まれ・3歳)

最近では戦隊物に目覚めた桜ちゃん!!
日に日にやんちゃ坊主になってます♪
これからも元気で笑顔が可愛い桜ちゃん
でいてね♡

広報の発行月に誕生日を迎える小さな子どもたちを
紹介していきます。

お誕生日おめでとう!!

ますます元気に大きくなってね!

HAPPY BIRTHDAY

かわかみの草花



サカキ (榊)

神事に用いられる日本人に
なじみのある植物。

「榊」は「賢木」とも書
き、古くは神事に用いられる
常緑樹の総称で、特定の樹種
とは限らずシキミなども含ま
れていたという。その中で、
サカキは色や形が美しく(特
に先端がとがった枝先は神が
降りるヨリシロとされた)、
神事にふさわしいものとして
神社の境内などに植えられ
た。サカキの語源は「境木」
で、神と人との境を意味する
という。

村の人口

2月29日現在

人口総数 1,537人 (-2人)
男 733人 (-1人)
女 804人 (-1人)
世帯数 833世帯 (-1世帯)

2月中の異動

転入 0人 転出 2人
出生 1人 死亡 1人

大前 稔 (西河)

2月21日 75歳

おくやみ (敬称略)

【問い合わせ先】
役場住民福祉課
TEL 52・0111

※開催時間は毎週火曜日の午後
1時から午後4時まで。
※祝日および12月29日から1月
3日を除く。

消費生活相談窓口	
開催月	開催場所
平成28年	
4月～6月	川上村役場
7月～9月	吉野町役場
10月～12月	下市町役場
平成29年	
1月～3月	大淀町役場